

## カレッジ里山 花実の森 活動報告(2013 年 9 月) 第 33-2 号

動 日 2013 年 9 月 25 日(水)	時 間 9:30~12:00	天候 (晴)	記録者 (菅田)
参加者氏名 (2 クラス 42 名)	スタッフ:磯野彰夫、植村佳子、片岡千鶴、鎌田悦一、菅田忠志、木田育義、黒子兵吾、小泉宏、 小林澄夫、塩ノ屋年子、清水英輔、谷口博、俵貴志子、徳原尚子、能村裕子、萩原一宏、橋野美 子、丸井宣夫、宮崎芳江、山口俊雄、 (特別体験参加:健康福祉 18 期 ACTIVE5 チーム:米倉、山田、松本)		
今回実施した 作業内容	神戸市立大池小学校 3 年 1 組~2 組(42 名) 花実の森自然環境体験学習受入れ 1. KSC 駐車場脇のカブトムシ幼虫生育場所から林内の生育場所への幼虫引っ越し作業 2. 林内の多様な草樹の観察をしながら、いろいろな葉っぱを集めてみんなで分類 3. コナラの年輪観察と葉っぱの顕微鏡観察		

## 【オリエンテーション】



子どもたちが貸し切りバスでやってきた。さすが授業としての来村であるから生徒たちの動きもいい。さっそくオリエンテーション開始。今日のスケジュールとその内容(①林内の樹々と草花の観察と、いろいろの木の葉集め②カブトムシ 3 齢幼虫の観察③樹の年輪しらべ)の説明をしっかりと聞き取ってもらえた。

## 【◎ 林内観察といろいろの木の葉集め】



林内の説明ポイントにつけられた「里山に関する学びの項目」を前にスタッフの説明を聞き入る子どもたち。



尾根への登りルートにつけた階段ならぬ“冒険のロープ道”木の葉採集袋を持ちながらであったが、元気に登っていく。後日送られてきた子どもたちの便りには結構「ロープ道が楽しかった」との感想も多かった。今後も“危険”は避けながらも自然体験の楽しみも加えていきたい。





いろいろな木の葉を集めるときのポイントの説明を聴きながら採集していく。子どもたちにとっておそらくこのような機会は初めてだろう。五感を通して自然の姿をしっかりと観察してほしい。



季節的には、春に比べれば野草の開花もやや少ない時期。そんな中で見られる野草の花のひとつに“ヒヨドリバナ”があります。ここで偶然この花を食草とするアサギマダラが飛来し、蜜を吸い始めました。傍にいた子どもたちは葉っぱの観察に夢中で、そのことには気づきません。アサギマダラは非常に人なつっこい蝶で、このまますぐそばを何人もの子供たちが通りすぎててもそのまま蜜を吸い続けておりました。他のアゲハチョウなどは写真を撮るにも苦労するのに。

### 【◎ カブトムシ 3 齢幼虫観察と林内生育場所への幼虫引っ越し】



ひとり 2, 3 匹の幼虫を運んでもらうことにし、  
どんどん入れてゆく。

今年の幼虫が孵化して育っている駐車場脇の間伐材チップ置き場から、林内の正式な生育場所への引っ越し作業をしてもらった。その際に、カブトムシについての学習も実施。  
初めてみる子どもも多く、おっかなびっくりだった子どもたちも、たちまち「かわいい〜」とお友達に。  
この後やがて来る冬には冬眠に入ることも説明。できれば来年 7 月の成虫観察にも来られればいいのだがね。





引っ越し先の生育場所では受け入れ準備の作業が進む。



2 往復してもらったので、概ね 200 匹くらいの幼虫を移動させてもらった。



どんどん運び込まれる幼虫。



ご苦労様でした。「神戸市立大池小学校花実の森カブトムシ分校」の立札前でパチリ！

### 【◎ コナラ大径樹の年輪観察】



年輪は、本数が樹の成長の年齢、筋の幅は成長の時間で狭い樹はゆっくり成長してきた印。間隔の狭いところと広いところで、太陽の当たり具合が分かれるので、方位の判断になるときもあることなどの説明後観察。  
紙をのせ、鉛筆で優しくこすっていくと年輪模様が写し取れることの実験。





### 【◎ 木の葉の顕微鏡観察】



実態顕微鏡による木の葉の表面観察。細かな葉脈や葉の表面の凹凸、産毛の有無、とげの形やつき方など目視ではわかりにくい微細なところまで観察できることに驚きや不思議な発見に興味も深まる。

### 【◎ 木の葉の化石観察】



神戸市須磨区・北区の周辺は、地理的には「神戸層群」と呼ばれる地層で、ここしあわせの村や白川方面では、昔は多くの木の葉の化石が出たところ。ここしあわせの村では今でも見つかる場所があるそうです。化石燃料と言われる石油などは、木の葉や腐葉土が化石にならずに油になったものですが、油にならずに固まって石になったのが木の葉が見られる化石です。

今では見られない何万年も前の古代の樹の観察なのです。化石には、木の葉以外に「昆虫」や「魚」「貝殻」、大きいものでは三田でも見つかった「恐竜の化石」もあるのは知ってるね。

### ちょっとサプライズな遊びも…



スタッフが取ってきたイタドリで始まった笛あそび。  
おそらくこれも初めての経験？  
いやあこれくらいは知っているはず…？





## ◎ おわりのあいさつ 下校



持ち帰った木の葉は、教室で分類しながら今回の自然環境体験を話し合ってください。みなさんお疲れさまでした。スタッフの皆さんも・・・。

## 4年生になったの再来村・・・2014年10月2日

翌年、4年生になった皆さんは、今度は「福祉の体験学習」として、しあわせの村の福祉施設の体験学習に来村。その帰りに「大池小学校カブトムシ分校」に立ち寄ってくれました。せっかくなのでその後の幼虫観察と、ササユリ種植えに使う腐葉土の「ふるい掛け作業とポット入れ」を手伝ってもらった。



しっかり引き継がれている生育場所に彼らも安心。



小枝や木の葉の混ざった腐葉土に、ふるいを使って分ける作業とポットに入れて苗床を作る作業。



ササユリのいい苗床ができました。  
ありがとう！